

水稻用初・中期一発処理除草剤

マスラオ[®]

ジャンボ

雑草、成敗いたす。

直播水稻にも使用可能

ハビエ



ホタルイ



コナギ



オモダカ



ミズアオイ



マスラオ[®] ジャンボ

有効成分

イマズスルフロン…4.5%
ピリミノバックメチル…3.0%
フェンキノトリオン…15.0%

一 移植水稲、直播水稲（表面播種・土中播種・乾田直播）に使用可能！

●移植水稲 … 移植直後～ノビエ3葉期まで ●直播水稲 … 稲1葉期～ノビエ3葉期まで

※乾田直播の場合は入水5日後以降（ただし稲1葉期以降）に散布。

二 新規有効成分フェンキノトリオンを配合し

SU抵抗性雑草を含むホタルイ、コナギ、ミズアオイ、オモダカに高い効果を発揮！

適用と使用方法

農林水産省登録 第24166号

主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (200g) /10a	1回	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ エノサヤヌカグサ ヘラオモダカ	2葉期まで
ミズガヤツリ	草丈10cm以下まで (直播水稲は5cm以下まで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cm以下まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

イマズスルフロンを含む 農薬の総使用回数	2回以内
ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	2回以内
フェンキノトリオンを含む 農薬の総使用回数	2回以内

(上記の内容はすべて2019年8月現在の登録内容)

上手な使い方

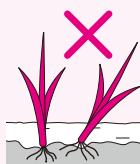
均平化作業・植付けはていねいに！

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。



移植深度は適正に！

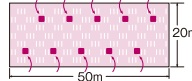
極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



散布時の注意！

- 水深5～6cmで散布。
- 藻類、浮草が発生する前に散布。
- 「濡れた手」で扱わない。
- パックを破らずに投げ入れる。

10アール(1反)では
10個を投げ込む
(6～10m間隔で)。



散布後の注意！

散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはいないに行い、ワラくすなどの浮遊物ではできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にいらないで行ってください。
- 処理に当っては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm / 日以上)。
 - ②軟弱な苗を移植した水田。 ③極端な浅植の水田。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用をさけてください。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 濡れた手で触らないでください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合、かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は農場等に放置せず適切に処理してください。

01R8H19M20:ZS

2019年8月作成(全企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

